

# 平成 29 年度 第 3 回番組審議会

## 議 事 録

株式会社エフエム戸塚

横浜市戸塚区川上町 91 番地 1

平成 29 年 9 月 14 日

# 平成 29 年度 第 3 回番組審議会 議事録

- 日 時 : 平成 29 年 9 月 14 日 (木) 14:00~16:00
  - 場 所 : 株式会社エフエム戸塚 会議室
  - 出席者 : 番組審議委員 5 名 (総数 5 名)  
金子 富康、小泉 信義、齊藤 真美奈、大滝 紀子、福嶋 隆太郎
  - 事務局 : 顧問 紺野 望、河原 愛美
  - 議事録 : 番組審議会事務局作成
- 

## ■議題

1. 番組 : 7 月 26 日 (水) 放送の番組「おはよう! 咲くらじお」に関するご意見について
2. 放送番組全般に関するご意見・ご感想について
3. その他ご意見ご感想について

## ■議事

1. 7 月 26 日 (水) 放送の番組「おはよう! 咲くらじお」に関するご意見

### 事務局

#### ～番組の説明～

この番組は、「さわやかな音楽とともにとれたての情報を。」をコンセプトに、

平日、月曜日から金曜日までの朝、午前 7 時から午後 8 時 55 分まで、

月曜日から金曜日まで 4 人のパーソナリティが担当。

ニュース・交通情報・天気予報のほか、2 時間の番組中には、「いってらっしゃい」のコーナーやレディオ湘南クロストーク、FM 湘南ナパサとクロストークを行うなど、様々な企画に富んだ内容を提供している。

本日は、火曜日、水曜日、担当のパーソナリティ吉川雅子の番組を審議して頂く。

放送日は、平日、月曜日から金曜日までの朝、午前 7 時から午後 8 時 55 分迄。

#### 一各審議委員からの意見は次の通りである。

##### 審議委員(A)

- ・テンポと歯切れは良く、朝の番組らしく良いと思った。高校野球やラジオ体操など、夏らしい旬の話題に触れており、ベテランパーソナリティらしく好感が持てる番組であった。
- ・話し言葉が速い場合があるので、ゆっくりと言ってほしい。  
自身の中で構成を決めてしまっているからこそ、話すスピードが速くなってしまい、そつなく纏まってしまっているのではないかと。
- ・初めて聴く方にとっては、早口や省略言葉があり、わかりづらく感じる場面があった。  
例えば、「咲くらじで朝ラジ」は、何のことか説明してほしかった。
- ・「咲くらじで朝ラジ」の企画で、出演されていた学生さんは学生らしい話が聞けてよかった。  
出演していた学生(湘南医療大学・横浜薬科大学)は、健康をテーマにわかり易く話していたので、健康をテーマとした番組が別にあっても良いのではないかと感じました。
- ・ニュースは、3 本用意して伝えていたが、朝という時間の特性上、長く丁寧に伝える必要がなく、幅広く薄く(国内・国外などの)いくつかのトピックス程度でニュースを伝えるのが良いのではないかと。

#### 審議委員(B)

- ・安定感があり聴きやすかった。
- ・クロストークでの日常会話は、話し言葉が気になった。CM後は、安定しているが、日常会話が速くなった。
- ・クロストークが長く感じる。また、クロストークをスタートする際は、頭に「湘南ナパサ」や「レディオ湘南」とクロストークを行います」と伝えるべきではないのか？
- ・2時間を飽きさせないように、「咲くらじで朝ラジ」という企画で横浜薬科大学の生徒が出演しており、戸塚区民のこと、戸塚区内に医療大学があることがわかり、良い企画だと感じた。大学生にコーナーを持って頂きたいくらいだと感じた。
- ・過去、番組審議会で取り上げた「totsuka heartfelt kitchen」と比較すると、喋るスピードが速いように感じた。

#### 審議委員(C)

- ・テンポと声がよく、好感が持てた。
- ・交通情報がきめ細かく、言ってもらえて良かった。
- ・「咲くらじで朝ラジ」の企画で横浜薬科大学の生徒が出演されており、話が良かった。
- ・2回目のクロストークの一部が聞こえづらかった。何を言っているのかわからなかった。機材の音量調整の問題であるのか？クロストーク相手先の音量が小さいため、パーソナリティの吉川さんがフェーダーを上げている様子であったが、吉川さんの声の音量も上がってしまい、クロストーク相手先の通話音声との音量調整が上手くいかない様子であったのが気になった。
- ・朝、忙しい時間帯にそつなくまとめて話している様子でもいいのかもかもしれませんが、早口なので、あまり記憶に残らない状態であった。もう少し、1つ1つゆっくり、伝えても良いのではないか。

#### 審議委員(A)、審議委員(B)

クロストークは、友人同士の会話にしか聞こえない。

新鮮さが足りず、第三者のことを考えて会話していないのではないか？

ラジオとして、放送としては？ということ considering、「テーマ」を決めてクロストークを実施してほしい。

#### 審議委員(D)

- ・話すスピードは、パーソナリティによっては差があるのではないか？  
もしかして、朝という時間帯に合わせて対応されているのではないか？
- ・パーソナリティの自己紹介がなかったので、タイミングはどうなっているのか？

#### 審議委員(E)

話のほうはスムーズで慣れているなど感じたが、その分、話している内容が記憶に残りにくい状態であった。「咲くらじで朝ラジ」の企画においては、横浜薬科大学の学生が出演しているのは、地域の医療大学を知るきっかけになったので良い機会であったと感じる。

—各審議委員からの意見に対し、事務局からの回答は以下の通りである。

- ・ベテランパーソナリティの場合は、朝という時間帯を意識し過ぎてしまい、喋るスピードが早くなりやすい傾向にあるかもしれない。
- ・ニュースは、読売新聞ニュースを使用しており、話し言葉で原稿が配信される。  
ワンマン形式放送であるため、放送直前に原稿を手直しして伝えるのはなかなか難しい。  
しかし、前向きに検討していきたい。色んなジャンルを取り上げるピックアップニュースでも良いのかもしれない。
- ・クロストークは、クロストーク先のパーソナリティとエフエム戸塚パーソナリティの会話をリスナーが勝手に聞いているというような様子であるため、トークテーマを決めて話したほうがいい。  
また、クロストークを行う前には前フリを行うように改善していきたい。  
特にFMナパサの場合は、前の説明もなく自然に入り過ぎていた。
- ・曲目紹介が流れて聞こえてしまうので、特に喋る速さに関しては課題である。
- ・パーソナリティの自己紹介は、番組の頭ですべきである。  
また、ステーションブレイクに入る前など、30分に1回程度、パーソナリティ自身の名前を伝えた方が良いので、今後改善していきたい。

## 2. 放送番組全般に関するご意見・ご感想について事務局

—各審議委員からの意見は次の通りである。

審議委員(C)

- ・遠方（沖縄県）で、スマートフォンにてエフエム戸塚を聴いたところ、聴くことができた。  
地元情報や知っている地名が出ているのは嬉しい。
- ・栄区との緊急割込放送訓練は、2度ほど失敗したと伺いましたが、理由はどうなっているのでしょうか？

審議委員(D)

- ・地域情報はどのように入手するのか？

—各審議委員からの意見に対し、事務局からの回答は以下の通りである。

- ・栄区との緊急割込放送訓練で2度失敗したのは、機材不良が原因であった。  
1回目は、緊急割込放送訓練と放送音声を繋ぐ、ケーブルが外れていた。2回目は、機材のヒートアップが原因で電話音声放送に乗りなかった。  
機材メンテナンスを予定しているので、改善していく。  
なお、スマートフォンでの緊急割込放送は問題なく実施できる。
- ・地域情報は、横浜市内の区報、新聞誌面、実際にイベントを体験したことがある方からお話を伺うなどして情報収集を行っている。

### 3. 放送番組全般に関するご意見・ご感想について

審議委員(B)

- ・戸塚区内の医療大学や大学は、地域の宝でもあるため、学生が出演する番組はないのか？

審議委員(A)

- ・障害をお持ちのお子さんの放課後保育が多くなっているの、放課後の生放送などがあれば良いのではないのか？

—各審議委員からの意見に対し、事務局からの回答は以下の通りである。

- ・放課後放送部という児童や学生が出演する番組がある。
- ・神奈川県立こども医療福祉センターにサテライトスタジオを設置しようと検討をしたこともあるが、難しいという結論に至った。

番組内「ラジオの絆」（パーソナリティ:相浦やよい）で病気に向き合う子どもたちからメッセージやリクエストを頂くという企画がある。NHKにおいても紹介された。

そのような福祉活動は、これからも継続していきたい。

■審議会は、次回の日程を確認し終了した。

次回開催日：平成 29 年 11 月 16 日（木）14：00～